（第３種郵便物認可）

狭山が逆転初勝利

新座コールドで2回戦へ

リトルシニア

〈関東連盟春季大会〉リトルシニア関東連盟春季大会は12日、浦和リトルシニアグラウンドなどで1回戦の16試合が行われ、北関東支部（埼玉、群馬、栃木）の狭山と新座が2回戦に進出した。

初出場の狭山が4―5の六回に3点を奪って逆転し、7―5で寒川を破って春の関東初勝利。8年ぶり出場の新座は相模原南を8―1の五回コールドで下した。

22年ぶり関東の新座東が昨年準優勝の世田谷西に5―6で惜敗した。2年ぶり出場の行田は初回の1失点が遠く、富士河口湖に完封負けした。加須は瀬谷に昨年8強の栃木下野は船橋にいずれも1―2で敗れた。

2回戦16試合は19日に大宮リトルシニアグループなどで実施。春季関東代表決定戦優勝の大宮、4年連続19回目の浦和、2季連続出場の久喜が2回戦から登場する。

▽1回戦

寒川	2	0	0	1	1	1	0	7	5
狭山	2	0	0	0	2	3	×	7	

（寒）戸塚、西村一石川（狭）鈴木、内田、澁田、中村一木村

▽本塁打　西村2（寒）布袋（狭）

▽二塁打　河原木、中川（寒）中村（狭）

新座	0	1	0	0	0	4	×	8	1
相模原南	0	0	0	0	0	0	0	1	

（五回コールド）

寒川―狭山　1回裏狭山2死一塁、布袋が左柵越えに同点2ランを放つ。捕手右川

見せた驚異の粘り

今の狭山には、驚異の粘り強さがあることを存分に知らしめた。寒川に3度リードを許したものの、すべて追い付き、最後に逆転して春の関東初勝利を挙げた。

「どんな状況でも攻めの気持ちを忘れない」とチーム目標を掲げる主将で4番の布袋翔汰が、自らその姿勢を示した。0―2の一回、2死一塁から「完璧すぎて感触がなかった」と左柵越えに同点2ラン。周囲が一瞬静まるほどの弾丸ライナーは、立ち上がりに2点を先制されて沈みかけていたチームに勇気を与えた。

再びリードを奪われても気落ちしない。2―4の五回には中村航の適時打と内野ゴロで同点。4―5の六回には内野ゴロで追い付き、なおも2死二、三塁でまたもや中村が「無我夢中で食らい付いた」と右越えに2点二塁打を放ちついに勝ち越した。

1カ月前の北関東支部大会で4度逆転勝ちを経験し、後攻めの戦い方に自信を持つ。試合前、攻守決めのじゃんけんに勝った布袋は迷わず後攻を選択した。

一方で、二、三回といずれも1死満塁の好機で無得点だったことは反省点。「プレッシャーがかかる場面で打つことが、楽しさにつながる」と吉田昭彦監督。チャンスを生かし切れるようになれば、楽な試合運びができるはずだ。

（成川謙）

▽3年　①大平哲見（川口市柔）海（山崎道場）イリタル・イブラ―▽同45㌔超級　①坂口稜（寺沢一場）③喜多颯斗（弘道館新井道

（相）北田、内藤―小祖（新）横内、金山―小沢

▽二塁打　嶋崎、山下（相）猿渡、横内、寺島、貫井（新）

船橋	0	0	0	2	0	0	0	1	2
栃木下野	0	0	1	0	0	0	0	0	1

（船）桜井―門馬（栃）佐野―角田康

▽二塁打　古谷2（船）内藤（栃）

富士河口湖	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行田	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（富）前田―舟久保（行）五十嵐―馬場

▽三塁打　北村（富）

加須	0	0	0	0	0	0	1	1	2
瀬谷	0	0	1	0	0	0	×	1	2

（加）鹿久保、荒井―宮川（瀬）児玉、小田―小林

▽二塁打　徳永、小林（瀬）

世田谷西	2	0	2	1	0	0	1	6	5
新座東	2	5	0	0	0	0	0	0	0